



〇やなせだかし

## 香美史探訪記

### 第63回 御在所山 (香北町大東)

御在所山(標高1079m)は南側がなだらかな山容で香長平野から望まれ、古来から霊山としての姿でそびえている。

宝永年間(1704~1710)に書かれた土佐州郡志によれば、『朴ノ木村聖権現社は、大久保、大屋敷両村界にあり、御在所山と号する。崇りあり、みだりに入山を許さず。山伏長学という者が初めて登り、孫の朴ノ木村三之丞が石で社を建てる』と書かれている。宝暦年間(1751~1763)に岩室山利仙院が社を引き上げて、五在所権現と称し百四十七権現として祀ってから、身を清めて参詣できるようになった。

土俵場(標高約700m)からの石段の参道は急であるが、手水鉢、狛犬、石燈籠、鳥居、玉垣などが幕末から明治時代にかけて多く建ち、立派なものである。



▲八十八カ所石仏

仏教関係では大日如来堂、不動明王堂などに加え、ミニ八十八カ所石仏が慶

応4年(1868)に塚地村の石工※の手で建てられた。

参道から山頂にかけて複数の神社が建てられ、山全体が信仰の対象となっている。



▲御在所山

山頂にある葦生大山祇神社の本殿は、天保3年(1832年)建立。軒部分には、藩主山内家の家紋・三葉柏がある。本殿を覆う軒殿は明治7年建立。外側四面に菊御紋がある。軒の梁には大きな龍が彫られ、海老紅梁(弓なりに曲がった梁)の曲線が美しい。大工棟梁は永野村の小松岩吾弘守である。祭神は大山祇命、そして明治維新の王政復古により、安徳天皇と平教盛卿を合わせて祀り、平家伝説が語り継がれる。

登山には、梅久保から清爪の上を通る林道が土俵場まで通じるが、山頂からの眺望は、山林の成長で枝葉の間に垣間見る程度になった。

(香美史談会)

※土佐市塚地は、当時藩内随一といわれた石工の村。



私は2013年10月に香美市へ来て、大学のインタ

高知工科大学には博士後期課程特待生制度がありま



No. 89

ーナショナルハウスに住んでいます。大学には外国人研究者のための立派な宿泊施設があります。いまは、牧野研究室で薄いフィルム技術の研究をしています。私は香美市で快適な研究生活を送っています。香美市の皆さんは親切です、話しやすいです。週末には自転車でスーパーへ買い物に行きます。近くにあるうどん屋もとても気に入っています。そのうどんがとてもおいしいんです。月2回は行きます。気分転換に高知市や南国市に行くこともあります。

文化交流会に参加することも楽しみます。着物、茶道、生け花、作法、カルタ等を体験したり、県内の観光地を訪ねたりしました。香美市の皆さん、これからもごつぞよろしく!

## おたんじょうびおめでとう

今月満1~3歳の誕生日を迎えるお子さんを紹介します。

Blank boxes for introducing children's birthdays.

※①は土佐山田町、②は香北町、③は物部町です。

ご応募をおまちしています。掲載を希望される方を募集しています。詳細はお問い合わせください。申し込みは誕生月の前月1日まで。問 総務課 ☎53-3112

## 掲示板

◆さおか秋の豊穡祭  
【日時】10月26日(日) 10時~15時  
【場所】佐岡小学校グラウンド(雨天時は体育館)

## まちの声

◆7月号の感想 (第51回かみかみクイズ応募から)

町に住んでいて、自治会への加入世帯がどんどん減っているのを感じてはいましたが、数字で見ると土佐山田町の加入率の低さを実感します。転入してきた人が

入らない以前に、脱会する世帯が増える原因を見つめなくてはいけないのでは...とも考えます。

中、市民の負担にならないような工夫が必要ですね。ただいま留学中の記事を見て、東南アジア諸国への想いを募らせています。行ったことのある国、ない国、さまざまですが...いずれ全ての国に行きたいと思えます。お祭りで工科大留学生が、ふるさとの料理を出店しているのを見かけるので、利用してみたいです。

## 編集後記

▼季節はすっかり秋へと移り、今年は夏らしい夏を感じられないままです。香美市の秋はイベント盛りだくさん。『刃物まつり』や『いきいき合衆国』など、今月号にもいろいろなイベント情報が載っています。イベントにはおいしい出店がつきもの。食欲の秋といえ食べ過ぎはメタボに通じる...要注意です。(小松)

# 市民のひろば



(山田高校マンガ部)